

# 学部の専門性と語学を伸ばす GCPだからできる学び



**清住 弘人**  
 金融の専門性を活かせる職業に

経営学部経営学科4年

広島県 県立・高陽東高校

GCPは異なる専門性を追求する学生との協働を通して、社会を多角的な視点から分析する力を養う場です。将来、私は金融の専門性とGCPでの学びを活かして企業の発展に携わり、そしてその裏にいる人々の生活に少しでも貢献できる人材へと成長していきたいです。



**青木 広平**  
 開発経済学を学び、世界に貢献

経済学部経済学科3年

大阪府 私立・関西創価高校

異なる考えを持つ人と関わる貴重な機会をGCPでは多く得ることができます。将来は、金融や開発経済学の知識を活かしながら、貧困のない世界を作ることに関わりたいと思います。



**足立 真優**  
 歴史を学び、社会科教師へ

文学部人間学科3年

大分県 私立・大分高校

他学部生と共に学ぶことで、複雑な社会問題を多角的に捉え、その全体像を把握する力が身につきます。GCPで地球的課題を、文学部で歴史を専門に学んだ経験は、必ず社会科教師としての進路に活かされると確信しています。



**芦谷 清美**  
 「人間教育」を学び、教育者に

教育学部教育学科2年

大阪府 私立・関西創価高校

各自の専門知識をぶつけ合うことによって得られる新たな視点は、GCPならではの貴重なものです。GCPで得た国際的な視点と学部での「人間教育」の学びを活かし、将来どこまでも子どもの可能性を信じぬく教育者として尽力します。

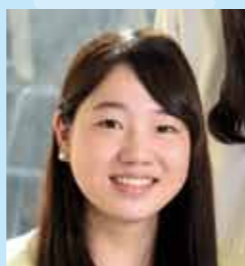


**三田部 直樹**  
 人々の生活に貢献できるエンジニアに

工学部情報システム工学科3年

埼玉県 県立・熊谷高校

他学部の学生との議論はとても面白く、一つの問題に対し様々な視点から見る事ができます。このGCPで培った問題を見極める力と共に、人々の生活に貢献できるエンジニアを目指し、専門性を最大限に伸ばしていきたいと考えています。



**小林 良美**  
 貧困問題の解決に尽力

法学部法律学科2年

東京都 私立・創価高校

活発に学問的な視野を共有する機会に恵まれたGCPでは、日々新しい発見・学びの連続です。今後の大学生活では開発や人権に関する知識を深め、将来は貧困問題の抜本的解決の一助になりたいと考えています。

平成28年度 募集要項

# グローバル・シティズンシップ・プログラム

## GLOBAL CITIZENSHIP PROGRAM



発行日:平成27年(2015年)5月1日

グローバル・シティズンシップ・プログラム事務局(総合学習支援オフィス学習支援課内)  
 ホームページ: <http://sgcp.soka.ac.jp> TEL:042-691-7009 FAX:042-691-6941 メールアドレス: [sgcp@soka.ac.jp](mailto:sgcp@soka.ac.jp)  
 お問い合わせ時間:月～金曜日 9:00～17:00 /土曜日 9:00～12:00



# GCPで磨く

## 語学力

### 2年間で英語力が 飛躍的にUP!

1期生から4期生(124名)の9割の学生がTOEFL550点、TOEIC800点以上達成、3割の学生がTOEIC900点以上を取得。



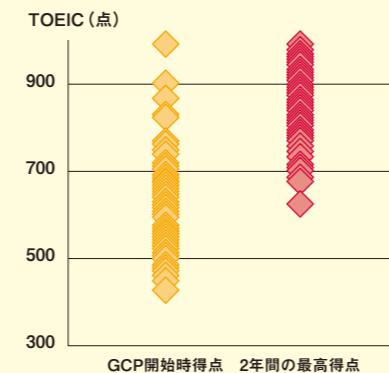
糸数 優花  
(経済学部経済学科3年 沖縄県 私立・沖縄尚学高校)

**TOEIC 905点、TOEFL iBT 93点**

入学当初、全く英語が話せなかった私は、毎日英語に触れることを目標にしました。授業の課題や英会話の練習を続けることは、簡単なようで難しかったです。また、友人とその日あったことを英語で話し合ったり、休憩時には洋画を英語字幕で見たりするなどして、日常生活で英語に触れる時間を増やすことを心掛けました。そうした努力の結果、授業でも積極的に発言できるようになりました。

さらに、GCPの担当教員の方々や多くの先輩方から様々なサポートやアドバイスをいただき、2年間でTOEICスコアを入学当初の545点から905点まで伸ばすことができました。国際会議などで英語力を生かして海外の青年と議論を交わせるようになり、英語力の向上を実感しています。9月からは交換留学生として米国ジョージ・メイソン大学で更に学びに挑戦します。

2年間でTOEIC平均点が  
約250点上昇



## プログラムゼミ

### 世界にはばたく 力を養う!

1年前期  
プログラムゼミ I

キャリア&  
リーダーシップ

**リーダーシップ力、  
ビジョンの形成力  
を磨く**

チュートリアルと併せて自身の  
最適なキャリア形成と進路を計画



1年後期  
プログラムゼミ II

ベーシック・  
リサーチ

**リサーチ力、  
プレゼンテーション力  
を磨く**

1年次2月に行う海外研修の  
なかで実地調査を実施



2年前期  
プログラムゼミ III

ポリシー・  
スタディーズ

**問題発見力、  
「チームで働く力」  
を磨く**

各国で開催される国際会議に  
日本代表として参加し、発言



2年後期  
プログラムゼミ IV

グローバル・  
イシューズ

**問題解決力・  
提案力  
を磨く**

2年次12月に公開成果報告会を  
開催し、社会に対して提案



# 創大の人間教育を「世界」に発信

## 国際会議

### 日本代表として国際会議に出席し、世界に発信!

GCPで培った英語コミュニケーション力、課題設定、問題解決力を活かし、これまでにノーベル平和賞受賞者世界サミット、G8世界サミット、世界大学総長協会横浜総会など数多くの国際会議に学生日本代表として参加しています。

#### ノーベル平和賞受賞者世界サミットに参加

2014年12月にイタリアのローマで開催された「第14回ノーベル平和賞受賞者世界サミット」(以下「世界サミット」)に、鬼木生子さん(経済学部4年)、平良正和さん(工学部4年)、米田賢司さん(経済学部3年)、足立真優さん(文学部3年)、佐藤幸恵さん(文学部3年)が世界青年代表団の一員として参加しました。GCP生の参加は、2010年に広島で開催された「第11回世界サミット」以来毎回続いており、「世界サミット」では、ノーベル平和賞受賞者をはじめ世界から集った青年代表団らと交流を深めています。



ジョディ・ウィリアムズ女史と交流を深めるGCP生

#### 日中韓ユースフォーラムに参加

2014年9月に中国の西安で開催された「日中韓ユースフォーラム」に池之上清美さん(法学部4年)、清住弘人さん(経営学部4年)が参加しました。日中韓ユースフォーラムは、日本、中国、韓国の国連協会が、各国青年の交流推進を目的に2010年より開催している学生会議とされ、今回は中国から40名、韓国、日本からそれぞれ20名の学生が代表団として参加しました。フォーラムでは、シンポジウムや模擬国連などとおし、国際社会の課題に関し各国の代表団らと活発に議論しました。



日中韓ユースフォーラムに参加するGCP生

#### 内閣府国際青年育成交流事業に参加

内閣府主催の国際青年育成交流海外青年派遣(2014年9月)に米田賢司さん(経済学部3年、ラオスに派遣)、池田桜さん(法学部3年、エストニアに派遣)、井上美希さん(文学部3年、ドミニカに派遣)の3名が参加し、それぞれの国の青年との友好を深めてきました。また、グローバルユースリーダー育成事業(2015年1月)に、糸数優花さん(経済学部3年)、紅野晴香さん(法学部3年)、伊藤憲子さん(法学部3年)、関根幸恵さん(法学部3年)、渡辺遥香さん(経営学部3年)、船戸明美さん(教育学部3年)、古賀広之さん(教育学部3年)が選抜され、バーレーン、ペルー、トルコなどを訪問しました。



内閣府国際青年育成交流事業に参加したGCP生

#### GCP生が参加した主な国際会議・日本代表団

ノーベル平和賞受賞者世界サミット、G8世界サミット、世界大学総長協会横浜総会、国際開発ユースフォーラム、国連防災世界会議Children & Youth Forum、日米世界学生会議、日露学生フォーラム、COP学生会議、日中韓ユースフォーラム、日中学生会議、日本アフリカ学生サミット、ハーバードアジア国際関係プロジェクト、内閣府国際青年育成交流海外青年派遣、内閣府グローバルユースリーダー育成事業

## 留学

### 交換留学・国際奨学金で86名の留学が決定!

1期生20名(32名中)、2期生21名(27名中)、3期生23名(31名中)、4期生22名(34名中)が、21か国・地域への交換留学生・国際奨学生に選ばれました。

#### 南アフリカ共和国ウィットウォーターズランド大学へ留学

佐藤 幸恵(文学部人間学科3年 大阪府 私立・関西創価高校)

TOEFL iBT 103点



私がGCPを志望したのは、徹底して勉学に挑戦し、自分の可能性と視野を広げたいとの思いからでした。しかし、英語の授業は内容が理解できず、自分の考えを伝えられない壁に直面しました。そのときに支えになったのは、GCPの友人たちでした。励まし合いながら目の前の課題に挑戦する中で、授業を理解し発言できるようになり、先生からWonderful!という言葉をもらったときの嬉しさは、今でも忘れません。

私は現在、交換留学生として、南アフリカのウィットウォーターズランド大学で学んでいます。名門校として知られ、ネルソン・マンデラ元大統領の母校でもあるこの大学には世界中から学生が集まり、毎日が新しい発見に溢れています。新しい環境で壁にぶつかることも少なくありませんが、GCPで培った、目の前の課題に全力で挑戦する姿勢で、楽しみながら、充実の日々を送っています。

多くの方々に支えられ、自身の限界に挑み続けたGCPでの2年間で、私の人生を大きく変えてくれました。これからも、感謝の思いを胸に挑戦し続け、世界平和に貢献できる真の世界市民に成長していきます。

#### 世界に広がるGCP生の留学先

- ◆北南米 アメリカ:デラウェア大学、ジョージ・メイソン大学、マサチューセッツ州立大学、ジョージア州立大学、ケネソー州立大学、メアリー・ボールドウィン大学、アメリカ創価大学、カナダ:プリンス・エドワード・アイランド大学、カルガリー大学、ブラジル:パラナ連邦大学
- ◆ヨーロッパ フランス:ノバンシア大学、オーストリア:クラゲンフルト大学、イギリス:ウェストミンスター大学、クイーンズ大学ベルファスト、パーミンガム大学
- ◆アジア・オセアニア 中国:北京大学、清華大学、厦門大学、上海大学、香港:香港大学、香港中文大学、韓国:慶熙大学、フィリピン:フィリピン大学、デ・ラ・サール大学、アテネオ大学、タイ:タマサート大学、チェラロンコン大学、インドネシア:インドネシア大学、マカオ:マカオ大学、マレーシア:マラヤ大学、インド:デリー大学、ネパール:トリブバン大学、ベトナム:ハノイ国家大学、オーストラリア:シドニー大学、ラ・トローブ大学、ブルネイ:ブルネイ・ダルサラーム大学
- ◆アフリカ ケニア:ナイロビ大学、アメリカ国際大学、南アフリカ:ウィットウォーターズランド大学



# キャリアに強いGCP

## 語学力×専門性

### 進路

2015年3月までにGCP1期生・2期生のうち38名が卒業しました(その他21名は長期留学を行い、就職活動等の準備のため卒業が半年から1年遅れます)。進路先はプログラムゼミやチュートリアルを通して磨いたキャリア形成力と、高い語学能力、専門性を活かし、国内外の大学院、公務員(国家・地方公務員)、企業と各人の最適な進路選択をしています。

### 大学院 約4割が国内外の大学院に進学

主な実績として、東京大学、京都大学、大阪大学、広島大学、創価大学の大学院への進学が決定しています。



#### 東京大学大学院 新領域創成科学研究科

藤田 博之 法学部法律学科卒業

将来は国際機関やシンクタンク等で貧困問題解決に貢献したいと思い、GCPを希望しました。その後、途上国で働くOBの方との出会いや留学を通して専門力の必要性を感じ、よりハイレベルな環境で専門性を高めるため、大学院への進学を決意しました。GCPで身に付けた英語力、リサーチ力は専門分野の学習を進めていく上でも自分の強みになりました。創価大学での5年間の経験を糧に、これからも夢に向かって学び続けていきます。



#### アメリカ・デューク大学 経済学修士課程

小川 正樹 経済学部経済学科卒業

GCPでの学びを深める中で、卒業後もさらに勉学を追究していきたいと強く思うようになり大学院への進学を決意しました。海外大学院への進学は挑戦的ではありましたが、GCPで培った英語力、また指導教員によるきめ細やかなキャリアサポートなどGCPの環境を生かせば不可能なことはありません。将来は、経済学で博士号を取得し、各国が抱える経済問題への解決に貢献していきます。



#### 創価大学 法科大学院

黒川 真希 法学部法律学科卒業

専門性を身に付け、様々な問題を抱え苦しむ方々を実際に助けていくことの出来る仕事がしたいとの思いから弁護士を志し、大学卒業後は司法試験受験のために法科大学院に進学します。GCPで培った英語力は法科大学院受験において大きな強みとなるとともに、目標を設定し計画を立て努力を積み重ねていく力は、法律の勉強においても非常に役に立ち、法科大学院に合格することが出来ました。

### 公務員 毎年難関の外務省、政令指定都市試験に合格

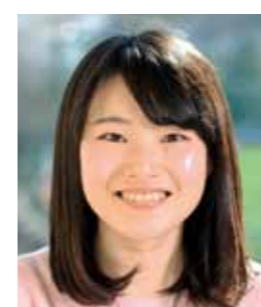
これまでに外交官(2名)と横浜市職員(2名)世田谷区職員(1名)を輩出しました。



#### 外務省専門職員

菊池 将稔 法学部法律学科卒業

日本を代表して、自らの専門性を活かして仕事ができることに魅力を感じ、外務省専門職員を志望しました。GCPで培った英語力のおかげで、TOEIC935点を取得し、外交官試験では大きなアドバンテージとなりました。大学1年生のころから、グローバルに活躍することを目指す学生と共に学び合い、勉学に徹した日々を過ごすことができたからこそ、最後に自身の希望する進路を勝ち取れたと思います。



#### 東京都 世田谷区役所職員

北條 美沙 経済学部経済学科卒業

被災地を訪れ、地域復興に熱心に力を注ぐ人々と出会ったことをきっかけに「地域防災」に興味を抱き、住民に寄り添い多様な面から暮らしを支える地方公務員を目指そうと決めました。つまずいてばかりの試験勉強でしたが、GCPの鍛錬の日々で得た決して諦めない姿勢、そして互いに触発し合える友人の存在が私を後押ししてくれました。創大GCP生としての誇りが自身を強くしたと実感しています。

### グローバル企業から内定

次々と難関のグローバル企業からの内定を獲得しています。



#### 公認会計士 有限責任 あずさ監査法人

萩原 大希 経営学部経営学科卒業

もともと数学が好きであったことと、自分の強みとなる専門性を磨き、又、その専門性を活かすことで社会にも貢献できる職業ということで、公認会計士を目指しました。GCPでのグループワークや実践的な英語学習は、試験合格後の就職活動で大きく評価され、第1志望であった大手監査法人の内定を頂くことに繋がりました。又、会計士にも英語力が求められるようになってきており、GCPでの学びは、自分の会計士というキャリアを考える上で非常にプラスになっていると感じています。



#### 外資系コンサルティング企業に内定

藤原 幹太 法学部法律学科4年

海外でのインターンシップの経験から、高い志を持つ企業や団体の助けになりたいと思い、当業界を志望しました。GCPで磨いた語学力や思考力があってこそ、深く企業と関わることができ、そうした想いを抱くことができたと感じます。また、ハイレベルな選考で他大生と互角以上に戦えたのは、GCPで培った問題解決力の賜物です。今後も、GCPの同輩と切磋琢磨し合った4年間を糧に挑戦していきます。



## 「創造的人間」と ミッションステートメント

21世紀に入り、これまでの価値観や既存の枠組みが世界的規模で加速度的に変化を遂げています。こうした時代において、創価大学はどういう人材を輩出すればいいのか。大学での教育がこれまでのように特定の専門知識の伝授にとどまってはなりません。私たちは日々思索を続ける中でひとつの結論を得ました。それは、今求められるのは、刻々と変化する厳しい現実に挑戦し、知識を生かしながら、問題を解決するために自在に智慧を発揮していく人間です。そうした人間を「創造的人間」と考えます。

「創造的人間」とは第3回入学式(1973年)で、創立者池田大作先生が創大生が目指すべき姿として示された指針です。建学の精神を具体的に表現した「創価大学ミッションステートメント」では、本学が輩出するその人材像を右記のように表明しました。

## 3つの「S」と「地球市民」

創価大学ミッションステートメントで謳われている、智慧、勇気、慈悲の3つの要件を有した地球市民(Global Citizenship)とは、言い換えれば、スピリット(Spirit / 精神性)・スキル(Skill / 技術・方法)・サービス(Service / 奉仕・貢献)の3つ(3S)を高いレベルで有している人材であると、私たちは考えています。

スピリット(Spirit / 精神性)とは、世界を志向し、世界の平和と人々の幸福を願う心です。そのためには様々なスキル(Skill / 技術・方法)を身につけることが必要不可欠になります。そしてサービス(Service / 奉仕・貢献)です。決して自己の利益にとどまることなく、獲得したスキルを智慧に変え、世界平和のため、人々の幸福のために貢献する勇気と行動、リーダーシップがあってこそ、スピリットもスキルも現実社会の中で大きく生きてくるのです。

GCPは、これらの要件を満たした地球市民の輩出を目指しています。そのために本プログラムでは、後述する5つの取り組みを通して皆さんの成長をサポートします。

将来、国際社会(国際的企業、国際協力機関など)を舞台に活躍したい、海外大学院に進学したい、国家公務員や国内企業を目指したい—そうした強い志をもつ学生を全力で応援するのがこのプログラムです。

創価大学では「人間教育」を目指し、豊かな人間性を基盤として、人類が直面する個々の問題に真摯に取り組み、智慧を発揮していく創造的人間を育成します。求められるべきは、真の「教養」をそなえた地球市民としての創造的人間にほかなりません。

地球市民とは、智慧と勇気と慈悲の人といえるでしょう。人種や民族や文化の差異を尊重し、理解し、成長の糧とする勇気。遠いところで苦しんでいる人々にも同苦し、連帯していく慈悲。その勇気と慈悲の心から、智慧は限りなく湧いてきます。創価大学は、地球市民すなわち創造的人間の連帯をもとに新たな地球文化建設の揺籃たることを目指します。

「創価大学ミッションステートメント」より抜粋

### グローバル・シティズンシップ・プログラム Global Citizenship Program



GCPは、いくつかの単位振替はあるものの、**将来国際社会等での活躍を目指す学生に、既存の教育課程とはまったく異なる科目を提供するものです。それは以下の5つの特徴を有しています。**

## GCPの 5大特徴

### 1 それぞれの学部にも所属したまま参加できる学部横断型プログラム

GCPは創価大学の一部の学部にも所属する学生のみが対象ではなく、経済・経営・法・文・教育・理工学部の6学部を対象に学生を選抜します。定員は約30名と、決して多くはありませんが、入学したそれぞれの学部にも所属したままの参加となります。従って、本学の一組織や一部の教員だけがGCPに関わるのではなく、創価大学全体で皆さんをサポートします。また、それぞれの学部の学生が集まることで、多様性が育まれることを期待しています。

### 2 徹底した英語教育で世界に通用する英語力を養成、海外研修には奨学金給付(返還不要)により全員が参加

GCPでは独自の集中英語講座で海外大学院留学レベルの英語力と国内外一流企業や国際機関に就職する際に求められる高度な英語コミュニケーション能力の修得を目指します。入学後、最初の2年間で集中的に週4回(2科目×週2回)の授業を履修し、徹底的に英語脳を鍛え、英語圏の大学院進学時に求められるレベルの読解力・ライティング能力・論理的思考力・ディスカッションやプレゼンテーションの技能などを総合的に磨きます。

さらに、GCP受講者全員に、海外研修費用として返還不要の奨学金が給付され、全員が海外短期研修に参加します。GCPの海外研修では、開発途上国を訪問し、政治・経済・環境・教育など、開発途上国がかかえる様々な問題についての講義を英語で受け、貧困地域の学校・施設を訪問し、開発・環境・教育問題の現状について理解を深めていきます。

### 3 社会システムを読み解く力—数理能力をトレーニング

国際社会や一流企業で活躍するためには、日々蓄積される膨大かつ多種多様なデータを効率的に活用し、集計や検算、高度な分析などを、スピーディーに処理できる能力が不可欠です。「社会システム・ソリューションⅠ」では、社会の現状を把握し、意思決定を行うために必要なデータ分析能力を修得します。また、「社会システム・ソリューションⅡ」では、日々激しく変化する社会システム、経営システム、情報システムなどに立ち向かうため、種々の問題発見とその解決方法に関する数理的基礎知識を身につけます。

### 4 独自ゼミでグローバルに活躍する人材を育成

セメスターごとにそれぞれ独自のゼミが設けられ、2年間で4つのゼミを学びます(→詳細は3ページ)。

### 5 4年間にわたる少人数制によるきめ細かい指導と「建学の精神」の深化

学生一人ひとりの学問分野や進路に合わせて、専任教員が、4年間きめ細かく個別指導を行います。まず入学してから2年次が終わるまでは、「進路を模索し、歩む道を見つける2年間」です。教員1人あたり5~10名の少人数体制を組んで、週に一度の集まり(チュートリアル)や個別相談・指導等を通して、学生生活を全力でサポートしていきます。そしてこの2年間で身につけたスキルを携えて、いよいよ3年次以降は、学生一人ひとりが具体的な進路を勝ち取り、社会に貢献する創大生に成長する時、すなわち「進路を決定して、夢を実現する2年間」を迎えます。ここでは、就職や公務員試験、あるいは海外大学院への進学等、多様な進路に最も適切な経験を有した教員のもと、進路を勝ち取る準備を重ねていくことになります。

#### GCP 5期生からのメッセージ

#### 法学部法律学科2年

尾張 智華子 東京都 私立・創価高校



私は将来国際舞台で活躍したいと思い、GCPに志願しました。現在は、開発途上国の教育分野における法整備やシステム作りをしたいと考えています。GCPには徹底的な英語授業の他に論理的思考力や数理処理能力を習得する授業があります。法学部との両立は容易ではありませんが、仲間と励まし合い、自身の限界を超える挑戦をしています。また、各学部から意欲のある学生が集まっているため、様々な価値観に触れられること、切磋琢磨しながら勉強に励めることはGCPの魅力です。日々の勉強には相当な努力が必要ですが、負けじ魂さえあればやり抜けます!共に自身の限界に挑戦していきましょう!

#### GCP 5期生からのメッセージ

#### 法学部法律学科2年

木村 華奈子 富山県 県立・高岡高校



GCPには、学部を超えて、様々な価値観を持った人たちが集まっています。そのような仲間とともに、英語力を鍛えたり、世界市民とは何か、リーダーシップとは何かなどをディスカッションしながら、様々な知識や教養、スキルを磨いています。私はこのGCPでの学びの中で、勉強や自分自身と真剣に向き合うことができていると思います。また、意識の高い仲間たちから多くの刺激をもらっています。将来国際的な仕事に就きたい、英語を極めたい、学部を超えて意識の高い仲間と出会いたいなど、そのように考えている人はぜひGCPへ!いつか先輩後輩として会えるのを楽しみにしています。



# 1 GCPで開講される科目

GCPでは、右表の授業を開講しています。これらの授業は、放課後(5・6時限目※)を中心に開講しており、通常の授業と並行して本プログラムの科目を履修していきます。GCPを修了するためには、プログラム修了に必要な単位を全て修得する必要があります。

プログラム修了に必要な単位数には含まれていませんが、GCPではこれらの科目のほかに、長期休業期間を利用した海外短期研修などのプログラムを開講しています。なお、今後の社会システム・ソリューションの履修形態については変更の可能性があります。

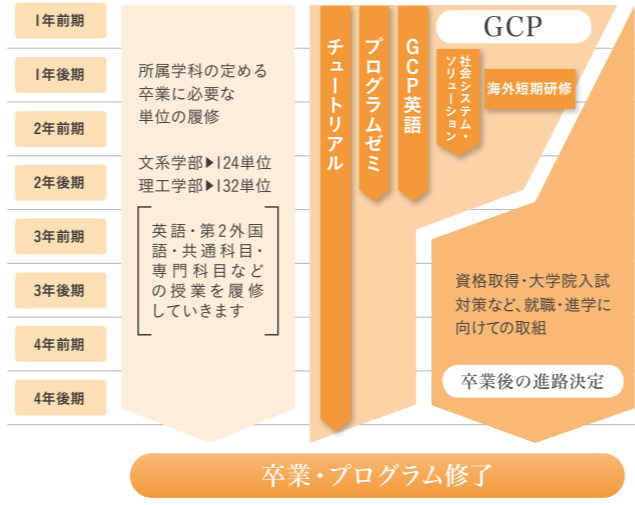
※5時限目 16:35~18:05、6時限目 18:20~19:50

Global Citizenship Program 修了に必要な科目			
科目名	各セメスターで修得すべき単位数	開講期	プログラム修了に必要な単位数
チュートリアル	1単位	1~4年	8単位
プログラムゼミ	2単位	1~2年	8単位
社会システム・ソリューション	2単位	1年後期 2年前期	4単位
GCP英語	4単位 (2単位×2科目)	1~2年	16単位
プログラム修了に必要な単位数の合計			36単位

# 2 入学から卒業までの流れ

GCPは、6学部(経済・経営・法・文・教育・理工)に所属する学生を対象としています。したがって、GCPを受講する場合は、所属する学部が定める卒業に必要な単位を修得しながら、並行して本プログラムの科目を履修することになります。プログラム修了に必要な単位を全て修得すると、卒業時に、所属学部の学士号のほか、プログラム修了認定証が授与されます。

- ※所属学部の定める卒業要件は、学部により修得すべき科目や単位数が異なります。
- ※所属学部の定める卒業要件は、単位のほか、通算GPA(各科目の評定平均)が2.0以上であることが必要です。
- ※GCP科目は、共通科目の授業として開講されます。したがって、GCPで修得した単位は、各学部で定める卒業要件の「言語科目(英語)」、「共通科目」、または「自由選択科目」の単位として含まれます。
- ※一部のGCP科目については、GCP以外の所定の科目を修得することにより、GCPの修了に必要な単位として振替を行うことができます。



GCPでは、1年次終了時に給付型奨学金による海外短期研修を実施します。5期生は、平成27年2月7日より22日までの2週間、フィリピンのキャピトル大学、フィリピン大学、デ・ラ・サール大学等で研修を行いました。

## 生きた英語を学び、即戦力の英語コミュニケーション力を鍛える

海外研修は、実践的な英語コミュニケーション力を磨く絶好の機会です。今回の研修では、GCP生はキャピトル大学をはじめ、フィリピン大学、アジア開発銀行などにおいて、フィリピンの諸事情やグローバル化、開発途上国の問題に関する講義を英語で受講し、講義終了後には、専門的な分野に関する活発な質疑が繰り広げられました。また、キャピトル大学では、英語によるフィールド・リサーチを行い、質問調査やアンケートを収集し、リサーチの最終日には、GCP生がリサーチ結果を英語で発表しました。GCP1年間を通して身につけた英語力をさらに磨き、コミュニケーション力が一段と向上する研修となりました。



## フィールド・リサーチを通し、アカデミック・スキルを高める

フィールド・リサーチは、1年次後期のプログラムゼミと連動し、アカデミック・スキルの向上を目指します。プログラムゼミでは、フィリピンの経済・文化・医療・行政・教育などの分野に関する課題テーマを設定し、事前に資料収集と分析を行いました。今回の研修は、日本での事前調査に基づき、企業や役所、病院、学校などでの調査を実施し、現実的視点に立脚した分析を行いました。調査に先立ち、調査手法とデータ分析、プレゼンテーションに関する講義を受け、各リサーチグループには、教員がメンターとしてサポートし、より一段と専門的かつ高度なリサーチスキルを修得することができました。



## 文化の多様性を学び、国際的な教養を修得する

異なる文化を理解し、尊重することは、地球市民にとって不可欠の資質の一つです。グローバル化が進む近年、様々な分野において国や地域間の交流が求められ、異文化と触れ合う機会が増えています。フィリピン大学の「国際化」に関する講義では、文化を「理解する」とは、その文化を形成した人々や国・地域の歴史を理解し、文化の起源と、現在の文化に至る過程を知ることであることを認識しました。研修の全期間を通し、GCP生は、異なる民族、宗教、文化、伝統と触れ合い、国や地域の持つ多様性を知り、その多様性を尊重する重要性を学び、地球市民に求められる素養を磨きました。



# 3 履修上の注意事項等

### 【教育職員免許状等の取得について】

GCPは、各学部に所属しながら参加するプログラムです。したがって、それぞれの学部を卒業することで与えられる資格(教育職員免許状等)を得るためには、各学部所定の科目を履修する必要があります。

### 研修参加者の声



**坂本 眞一郎 (法学部法律学科2年 山口県 県立・豊浦高校)**  
この研修を通して、GCPの授業で学んだ英語力、社会問題の調査・検証能力が、海外でも通用するものであり、身につけていることを実感することができました。それと同時に、自らの実力不足を痛感しました。しかし、現在の自らの立ち位置を認識することができ、研修前に比べ、これからの大学生活で何をすべきかがより明確になりました。また学業面だけでなく、現地の様々な人との交流をとおして、異なる文化を超えた友情を築くことができ、非常に充実した16日間を過ごすことができました。この貴重な経験を、これからの学び、キャリア形成に生かしていきたいと思えます。

### GCP 5期生からのメッセージ

経済学部経済学科2年 田口 敏広 大阪府 私立・関西創価高校



GCPは将来世界を舞台に活躍したい学生が勉学をとおして夢を実現する場所です。私も将来国際機関で働くことを目指しています。GCPの授業が始まると、優秀な他の学生や先輩方を見て、自分の学力に自信を持てず悶々とする日々が続きました。しかし、GCPの先生方の手厚いサポートや先輩のアドバイス等を受け、諦めることなく粘り強く勉学に取り組むことができました。また、同期の仲間同士でも触発しあい、勉学で切磋琢磨しあう友ができました。夢の実現に向けて、このGCPの1年間で英語を駆使できる確かな実感と、共に未来の為に励ましあう仲間を得ることができました。

### GCP 5期生からのメッセージ

文学部人間学科2年 池田 円華 千葉県 県立・佐原高校



GCPは、高い目標を掲げ努力する仲間と、切磋琢磨し大きく成長することが出来る環境です。親身になって相談に乗って下さる先輩方のサポートや、熱心に指導して下さる先生方のもと、安心して勉学に打ち込んでいます。少人数で構成される英語の授業では、英語のスキルを磨くことが出来ます。また、社会システムソリューション、プログラムゼミ、チュートリアルなどの授業を通し、論理的思考力や、データ分析力、課題発見能力などの様々な力がつきます。膨大な量の英語の課題や、GCPと学部の授業の両立等、大変なこともありますが、一緒に挑戦し続ける仲間と共に、充実した大学生活を送ることが出来ます。



選抜方法

セレクションポリシー (求める人材像)

今日の社会は、高度知識社会であり、グローバル化が急速に進展している社会です。こうした時代に生き、GCPで学ぼうとする学生の皆さんは、文系学部・理系学部であることを問わず、あらゆる知識を吸収しようとする意欲を持ち、論理的思考力や問題発見・解決能力、さらにはリーダーシップやコミュニケーション能力を身につけることが求められます。

具体的にはGCPでは学生に次のことを期待します。

- 1 学問を深く学ぶために必要な基礎学力を身につけている、もしくはそれを身につける努力をいとわず、文系・理系を問わず、あらゆることを学ぼうとする学問探究への強い意欲があること。
- 2 与えられたカリキュラムの中だけで学ぶのではなく、そこから自らの関心の幅を広げ、自ら課題・問題を発見し、それを解決するための力を身につけようとする強い自主性を有していること。
- 3 将来、国際的企業、国際協力機関、海外大学院、国家公務員や国内企業への就職などを進路として考えていること。
- 4 海外留学や国際社会で通用するレベルの語学力(英語)を身につけることに強い意欲があること。
- 5 現代の国内外の諸問題や、歴史・文化等に強い関心を持っていること。
- 6 これまでの諸活動などを通して、リーダーシップを発揮した経験や人々に貢献したという経験を持っていること。そしてこれからもリーダーシップの発揮や人々への貢献を志向していること。

GCPに応募する学生に求められているのは、学生時代に徹底して学ぼうという強い意欲と好奇心、思考力や応用能力、そして地球市民(Global Citizenship)の一員として、世界平和のため、人々の幸福のために貢献しようとする大きな志です。

出願資格・募集人員

■出願資格

平成28年度入学試験(公募推薦入試・創価学園推薦入試・センター試験利用入試[前期3科目方式、4科目方式]・全学統一入試・一般入試)の合格者でGCPの受講を希望する者。

※看護学部と国際教養学部は、出願の対象ではありません。

※GCPは、1年次から4年次までのトータルプログラムです。したがって途中年次からの受講はできません。

※選抜費用や入学後の受講費用はかかりません。ただし、GCP英語の一環としてTOEFL等の外部試験を受験する場合があります(自己負担/1回3,000円~4,500円)。

※出願資格についてご不明な点がある場合は、事前にGCP事務局(TEL 042-691-7009 FAX 042-691-6941 / e-mail:sgcp@soka.ac.jp)にお問い合わせください。

■募集人員

約30名(ただし合格者が募集人員に満たない場合でも追加募集は行いません)

「GCP特別奨学生」制度を実施

創価大学では、受験前に予約できる「創友給付奨学金」、入学試験での成績優秀な合格者を対象とする「創価大学特別奨学生」、経済的困難をサポートする「創価大学給付奨学金(学費減免)」「創価大学牧口記念教育基金奨学生」(平成24年新設)、成績優秀者を奨励する「創価大学特待生」等、充実した独自の奨学金制度が準備されています。

さらに、平成24年度よりGCP第2次選抜試験での結果を基にした「GCP特別奨学生」(5名程度)制度が新設されました。給付内容は、入学金の半額を免除し、授業料と施設設備費の半額を4年間免除するもので、「創友給付奨学金」「創価大学特待生」との併用は可となっています。

選抜方法

GCPの選抜は、以下の2段階で行います。

(1)第1次選抜

ア. 本学合格通知関係書類の中にある[GCPエントリーシート](※下記エントリーシート縮小版を参照)と入学試験時の得点による総合評価で選抜を行います。エントリーシート提出期限は公募推薦入試:平成27年12月16日(水)・創価学園推薦入試:平成28年2月5日(金)・センター試験利用入試(前期3科目方式、4科目方式)、全学統一入試、および一般入試:平成28年2月29日(月)、いずれも当日消印有効です。

イ. 第1次選抜の合格者は、約70名とします。

ウ. 第1次選抜の結果については、平成28年3月中旬頃に通知書を発送します。その際、第1次合格者には、第2次選抜のスケジュール等も送付します。

【エントリーシート】

(実寸はA3サイズ。右図は平成27年度版)



エントリーシートの記入項目

- I 志望動機
- II 積極的に取組んだ事
- III 語学力(資格・検定)
- IV その他の資格・検定

※Ⅲ・Ⅳは裏づけとなる証明書のコピー(A4サイズ)を必ず同封すること。

(2)第2次選抜(平成28年3月31日(木)予定)

第1次選抜合格者に小論文試験・面接試験・英語ライティング試験(与えられたトピックについて30分以内に約300語の英文にまとめる)を行います。またこれらの結果と4月入学直後、全新生に対して実施するプレースメントテスト(基礎学力判定テスト[数学・国語])・TOEIC-IPテストの結果を加味した上で、総合評価により選抜し、受講生を決定します。

選抜の流れ

入試の種類	公募推薦入試	創価学園推薦入試	センター試験利用入試 (前期3科目方式、4科目方式)	全学統一入試	一般入試	合格者数
第1次選抜 エントリーシート提出締切日 (締切日消印有効)	平成27年 12月16日(水)	平成28年 2月5日(金)		平成28年 2月29日(月)		約70名
第1次選抜合格発表	平成28年3月中旬頃、合格通知書を発送					
第2次選抜	予定:平成28年3月31日(木) 小論文試験 面接試験 英語ライティング試験					約30名
第2次選抜合格発表	4月入学直後 筆記試験(プレースメントテスト TOEIC-IPテスト)					
第2次選抜合格発表	4月上旬 本学掲示板にて合格発表					

■創価大学入試合格者(対象は下記6つの入試)に、エントリーシートを送付します。

(送付時期 公募推薦入試:12月初旬 創価学園推薦入試:1月下旬 センター試験利用入試[前期3科目方式、4科目方式]、全学統一入試:2月中旬 一般入試:2月下旬)

■GCP受講希望者はエントリーシートを提出し、入試得点やエントリーシートの内容等による総合評価で第1次選抜を行います。第1次選抜合格者は、平成28年3月31日(木)に実施予定の第2次選抜に進みます。

■第2次選抜では、小論文試験・面接試験・英語ライティング試験を行います。これらの結果と4月入学直後の全新生に対して実施するプレースメントテスト・TOEIC-IPテストの結果を踏まえ、総合評価の上、GCPの合格者を決定(定員約30名)します。

■合格発表は4月上旬に本学掲示板にて行い、通常の履修登録(時間割登録)に間に合うよう期間設定しています。

■過年度の選抜結果はホームページをご覧ください。

GCP 5期生からのメッセージ

経営学部経営学科2年

中原 咲希

大阪府 私立・大阪薫英女学院高校



私は学生時代に本気で学問に打ち込みたいと思い、GCPを受けることを希望しました。手厚いサポートをして下さる教授や先輩と互いに刺激し合える同期の存在、GCPのための勉強スペースなど、恵まれた環境で勉強することができます。また、知識やスキルの向上のみならず、人間的にも成長することができたと感じています。私は将来、金融経済を専門として国際機関で働きたいと考えております。そのため、実践的な英語や第二言語の習得だけでなく、専門的な勉強にも励んでいます。あらゆることを徹底して学び、限られた4年間で充実したものにしていきたいです。

GCP 5期生からのメッセージ

工学部情報システム工学科2年

永塚 光一

東京都 私立・青稜高校



GCPには、英語をはじめとした様々な学問を学ぶ最高の環境が整っています。僕自身、このプログラムに支えられ、英語力を大きく向上させることが出来ました。また、高い志を持った多くの優秀な学生がいるということも魅力の一つです。彼らの存在は自身の向学心をいつも高めてくれます。そして何よりも、このプログラムには、何のために学ぶのかということを深く考える文化が根付いています。僕は、これがGCPの最も大きな魅力であると思っています。そういう意味では、今はまだなぜ勉強しなくてはならないのか分からない人にも、このプログラムは向いていると思うので、是非トライしてみてください。



## 先輩GCP生が答えます。

## Q 国立大学と悩んでいます…

A カーリー 法流 ◆ 文学部人間学科4年 愛媛県 私立・済美高校

私自身、倍率が数十倍の公立大学に合格していたため、創価大学に進学することが先生方の期待を裏切るのではないかという気持ちがありました。しかし、GCPをとおして徹して力を磨きたいの思いとGCPの先輩方による激励があったことが創価大学進学を決め手となりました。今では、学部を越えて優秀な学生と切磋琢磨し合うことやノーベル平和賞受賞者をはじめとする世界の識者との交流をとおして、自分自身も「やればできる」という自信につながっています。あなたも私たちと一緒に世界に挑戦してみませんか？

## Q 寮生活について

A 兵連 明男 ◆ 経済学部経済学科4年 大阪府 私立・関西創価高校

私は、友光寮の寮生として、寮生の生活や勉学のサポートをしました。現在は、アメリカに交換留学中です。寮は、勉学に打ち込む仲間たちと切磋琢磨し合う場です。昨年度より男子友光寮と女子創春寮が国際学生寮として出発しました。寮生たちは、留学生たちと英語や日本語を教え合いつつ、文化交流を楽しんでいます。また、寮には自習室などもあるため、友達と勉強会を行ったり、自分の勉強に集中したりと、勉学のための環境が整っています。さらに寮は、友と語り合い、ともに励まし合う、人格形成の場でもあります。ぜひ、鍛えの青春を寮で過ごしてほしいと願っています。

## Q 2次試験英語対策について

A 中西 なつみ ◆ 文学部人間学科4年 福岡県 県立・香住丘高校

私の場合は、まず「ドラゴンイングリッシュ基本英文100」という本に載っている例文をすべて徹底的に暗記しました。そして、アカデミックエッセイの基本構造を学ぶため、旺文社「TOEFLテストライティング問題100」を活用したり、過去に受験したGTECライティングテストで書いた英作文を見直したりしました。国立大学2次試験対策として書いた英作文を高校の教員に添削していただいたことも、非常に役立ちました。

## Q クラブとの両立は可能ですか？

A 平野 光城 ◆ 経済学部経済学科4年 鳥取県 県立・鳥取西高校

GCPの授業は毎日予習・復習や課題が多くあり、大前提として勉学に費やす時間が必要のため、1・2年次のクラブ活動は禁止です。ただし、3年次以降は将来の進路にあわせ、学内の活動を有効に活用できます。私も経済理論の専門知識を深めるために、学内活動に参加しました。

## Q 数学が苦手でも大丈夫でしょうか？

A 紺野 聡子 ◆ 平成26年度文学部卒業 東京都 私立・大妻中野高校

数学が得意であることは強みになりますが、そうでない人も充分授業を理解できると思います。実際に、GCP生の中には高校でほとんど数学を習わなかった人もいます。私も数学が苦手ですが、先生や先輩、友達に質問することで授業の理解に努めました。「社会システム・ソリューション」の授業を通して、数理能力は将来の可能性を広げるために必要な力だと知りました。苦手意識を持つ人も、GCPの授業を通して理解を深められると思います。

## 外務省職員



牛田 貴広

GCP1期生、  
平成26年度法学部卒業

外務省に入省して以来、主に国際会議で発表される宣言の翻訳や政策の説明資料の作成などに携わりました。日・モンゴルEPA交渉、中国APEC首脳会議など、外交の現場を垣間見ることができ、非常に刺激的な日々でした。将来は、対中外交の専門家として日中関係の最前線で働きたいと考えています。そのためにも「十年一剣を磨く」との思いで、創大生らしく目の前の仕事に誠実に取り組んでいます。

GCPでの学びを通し、国際政治、経済などのグローバルな課題について、自分の言葉で表現し、意見を伝える経験を通して、漠然と抱いていた外交への興味が明確な決意に変わりました。現在の仕事では、英語の文章を要約したり、情報を分かりやすく整理してまとめたりする機会が多々あります。GCPでの経験のおかげで、こうした仕事にも積極的に取り組むことができていると思います。

GCPは、「成長したい」という学生の情熱に最大限応えてくれるプログラムです。充実のカリキュラムと教授陣、共に切磋琢磨する仲間がいます。そして、真の地球市民を育てたいという創立者の心を受け継いでいます。志ある受験生の皆さんを、創価大学でお待ちしております。頑張ってください。

## 大阪大学大学院



佐藤 千華

GCP1期生、  
平成26年度経済学部卒業

私は現在、大阪大学大学院経済学研究科に所属し、行動経済学、実験経済学を学んでいます。今の進路を選ぶ一つのきっかけとなったのが、GCPのプログラムを通し、学ぶことの喜びや、楽しさに気づけたことです。特に、様々な学部の仲間とともに学ぶことで、自分自身の視野も広がり、学問に対する興味関心も深まったように思います。また、留学中の経験も非常に活かしています。私の専攻分野は、経済学でも比較的新しい分野であり、日本では学べる機会が多くありません。留学先でその導入となる授業を履修できたことは、現在の研究にとっても役立っています。

私が創価大学に入学した当初は、英語が大の苦手な夢のまた夢だったので、このような有意義な経験ができたのも、GCPがあったからだ感謝しています。GCPには、どんなに無謀に思える夢でも、真剣に向き合い、応援してくれる仲間や、先生方が沢山いますので、皆さんも思う存分挑戦してください。

私は現在、両親や先生方をはじめ、沢山の方々のおかげで、自分の好きなことを、好きなだけ存分に学べる環境に身を置かせていただいています。今後は、この学びを活かし、社会に貢献することで恩返しをしていきたいと考えています。

## アメリカ ジョーンズ・ホプキンス大学大学院



菅原 将

GCP1期生、  
平成26年度工学部卒業

私は、現在、ジョーンズ・ホプキンス大学大学院で免疫学を学び、ウイルス感染における細胞の免疫応答について研究しています。GCP時代に鍛えた英語力、ディスカッション力のお蔭で、ディスカッションの授業の中でも積極的に参加できるなど、アメリカ最高峰の大学院で勉強できるだけの実力をつけることができました。

将来は、免疫学の分野で世界に通用する研究者となり、自分の研究によって、一人でも多くの命を救うのに貢献したいと考えています。私は、有名進学校の出身で、国立大学に進学するか、創価大学に進学するか、悩んだ末、創価大学に入学しました。そして、GCP生として勉学に一心に励む中で、世界中から最優秀の学生が集まるジョーンズ・ホプキンス大学大学院に合格することができました。大学4年間に何をするかによって、自分の可能性をいくらか広げることができます。特に、創価大学のGCPには、自分の夢を見つけ、それを実現することのできる環境が整っています。受験生の皆さんが、創価大学のGCPに入り、世界中で活躍する姿が、私達卒業生の一番の励みになります。ぜひとも、創価大学のGCPを目指して、受験勉強頑張ってください。

## GCPは夢を実現する強力なステップ

副学長・学士課程教育機構長 寺西 宏友



このプログラムは、「地球市民」という自覚を持って、人類社会が抱える解決困難な問題に取り組む人材を育成することを目的に2010年4月にスタートをしました。開始から5年が経過し、1期生31名と2期生7名が卒業しました。彼らは、本プログラムの大変に厳しいメニューに挑戦し、英語力の飛躍的な向上、世界の名門大学等への交換留学、国際的なイベント等への積極的な

参加を果たしました。卒業後の進路も、難関公務員試験合格や、国内外の大学院進学、グローバル企業等への就職という輝かしい実績を残しています。交換留学等で卒業が1年延びた2期生20名も、果敢に挑戦をしています。受験生の皆さんには、本パンフレットに掲げられた様々な実績をご覧ください。是非挑戦をしていただきたいと思っています。